



-ごあいさつ- 平成から改元した令和元年も大変お世話になりました。道路・水害対策も10年越しの事案もあり、既に引退された先輩議員や、地域の皆様のお陰で実現に向かっていきます。今後も“行動派”として皆様の声に耳を傾け、新たな提案もし続けて参ります。

● 令和元年 第4回定例会一般質問の要約とねらい。

2019年12月12日

① 日頃のインフラ管理について

1. 電線の地中化について

金沢市で景観向上の電柱地中化を視察した。一般的な電線共同溝方式の整備費は、1kmあたり約5億3,000万円。電柱方式は2,500万円と約20倍の価格差との答弁があった。千葉市では「**停電・通行止め**」「**通学路**」の危険度が高い場所は最重要課題として、短い区間であっても電番を置き**電柱を地中化**すべき。



50M~100M に一つ冷蔵庫程の電盤を置き電線を地中化する

2. 樹木について



これでは木の中に電線がくるまれていますね

今台風で東京電力とNTT東日本で、倒木を約600箇所。道路管理者が約700箇所、計約3,300本を処理。電力会社と道路管理者が共同で処理した倒木箇所数は8箇所。**電力会社が電線周りの枝や幹を処理、道路管理者が大型クレーンなどの建設機械と操作人員を派遣し、根元付近で伐採。**



二子多摩川では堤防決壊。景観が悪くなくても**安全の方が大事、強剪定すべき**電線のうち、特に高圧線を囲っている場合は**積極的に伐根**すれば停電や通行止め対策になる。

3. 道路・側溝管理について

災害時冠水すれば家屋が後日**カビる**等市民が大迷惑、側溝詰まりは冠水の温床、**事前に平時、清掃対応すべき**。職員の**苦情処理対応より合理的**。土木事務所直営職員が不足なら採用を。48時間以上、通行止めの市道は26箇所、電線や電柱に関連する通行止めは、そのうち11箇所と答弁があった。**通行の禁止や制限指示は、**道路法により道路監理員に任命されている市職員・警察官が誘導出来るとの答弁があったが、災害時、著しい支障を及ぼす場合は、**住民も防御に従事出来る**。今回は一部で実際には警察から依頼され、住民が対応した。**住民に備品管理を委託し、緊急の災害時に備え、補助員として準備・訓練してもらう**ことを提案。



看板を冠水多発地点の現場周辺に保管し、**職員の到着が遅れたときは、住民が手伝うようにすべき**

② 災害時の情報伝達について



この様な看板は**道路監理員**でないと扱えませんが・・・

市では今月から新たに、事前登録された電話やFAXに、避難勧告等の緊急情報を配信するサービスを開始。しかし災害時はFAX・電話は使用困難。**防災無線スピーカー増設に1台500万円**と答弁があった、携帯電話の格安SIMでも大手キャリア並みに、防災情報を伝えられる



ように国に要望すべき。また携帯電話を**持たない方**に**受信機を配布**できないか検討するように要望。廃止されたが**ポケベルで伝達**すれば良かったのでは…。

③ 子どもの医療費について

この4月から子ども医療費負担に保険調剤費が追加され2倍に増加。会派でも小中学校のエアコン維持管理経費2.1億円の財源ではあるが、他の財源で賄うべきとの意見だった。台風災害中、議論短縮という不当な理由で議案質疑の機会が奪われ、時間の制約で代替案は出せなかった。来年度以降、別の財源を充てて子ども医療費負担は戻すべきと要望。



④ 稲毛区の諸問題について

1. 道路整備について

本年11月末に、園生町111号線のヴィルフォーレ稲毛前交差点から40M区間は、車がすれ違えるよう、車道を広げ歩行者帯を設置。今年度国道16号とヴィルフォーレ稲毛前交差点との概ね中間にあたる、土地の売買契約が成立。2箇所の待避所を設置する予定との答弁。磯辺茂呂線計画地内の、買取り希望者と、上物が無い用地を買収し、道路の拡幅・歩道、待避所の増設とワンズモール側の残る擁壁の除却も要望。



左写真

歩道も車道も狭く非常に危険
ビフォア 交差点 アフター

右写真

歩道が出来、歩行者も
少しは安全になりました。



2. 雨水対策について



最低限の改修は行ったが、気候変動と大潮・満潮に備え、パイパス貯留管整備も検討すべき



次第に水嵩が増えていきます

稲毛小学校周辺の冠水対策として水路への雨水流入量を抑制するため、パイパス的な貯留管の整備も検討するという前向きな答弁を引き出した。



稲毛区小深町浸水対策で、既存水路の流下能力を向上させるため、水路底部の改修・施設構造や施工方法等を実施設計中との答弁、来年度の早期に着手を要望。



写真手前の小深第一公園側はいつも冠水しているが、その先の四街道市側は全く冠水していない、奥の突出したコンクリートを削り水流を良くします

今回質疑の詳細は千葉市議会のホームページでご覧になれます。また10年前に、ノーベル化学賞受賞の野依良治教授は、「コストと投資を一緒に仕分けるのは見識を欠く」また「不用意に事業の廃止・凍結を主張する人は、果たして将来、歴史という法廷に立つ覚悟が出来ているのか」と述べた。今回の台風で民主党政権時の事業仕分けの問題点を実証された。

小松崎ふみよし・プロフィール

* 事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園(現在、評議員)
千葉市立山王小・横橋中学校、
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現在 同窓会副会長)
法政大学法学部法律学科卒業
(現在校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員(稲毛区選出)4期当選
千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
現在
千葉市社会福祉協議会山王地区部会長
自民党千葉市青年局長

37地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市アーチェリー協会会長
県美容業組合千葉支部顧問
千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市総武リーグ顧問
社会福祉法人愛の園評議員

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話:043-424-0001 FAX:043-421-6667
E-mail: info@2344.jp HP URL: 2344.jp
開設時間【水・金】13:30-16:00
(年末年始・GW・8月を除きます、
不在時は小松崎本人の携帯に転送)
お問合わせ・ご意見をお待ちしております。